

● 三つの重点項目

新たな文化芸術推進体制の構築（名古屋版アーツカウンシル）

高度人材の専門的かつ長期的な視点による支援・評価・調査研究等を通じ、より効果的に名古屋の文化振興及び魅力向上を図るため、新たな文化芸術の推進体制（名古屋版アーツカウンシル）を立ち上げます。

ユネスコ・デザイン都市なごや／ユネスコ創造都市ネットワーク

国内外のネットワーク加盟都市との交流事業やデザイン等をテーマとしたワークショップ、クリエイティブカフェなどの人材育成事業等の実施を通じ、デザインの視点や文化芸術の創造性を活かした持続可能なまちづくりと社会的課題に対応する取組みを推進します。

新たな劇場の整備（市民会館の改築）と文化施設の有機的連携

老朽化が著しい市民会館について、改築に向けた検討を進め、新たな劇場として整備するとともに、新たな劇場を名古屋の文化芸術発信のための中核施設に据え、他の文化施設と有機的に連携しながら、文化芸術のすそ野拡大（劇場文化の浸透）を目指します。

● 評価方法

○ 計画全体の評価指標（一部抜すい）

	指標	現状値	目標	出典
全体	市民の名古屋文化の評価 「文化的なまちだと思う」、「どちらかといえば文化的なまちだと思う」の割合	51.4%	62%	ネットモニターアンケート ・現状：R2
重点項目	名古屋版アーツカウンシル 支援件数	5件／年 (R2試行時)	50件 (累計支援件数)	名古屋市データ
	ユネスコ創造都市ネットワーク ネットワーク交流事業件数	4件／年	30件 (累計事業件数)	
	文化をホール、美術館などで直接鑑賞をした市民の割合（直近3年間）	86.0%	89.0%	

● 基本理念

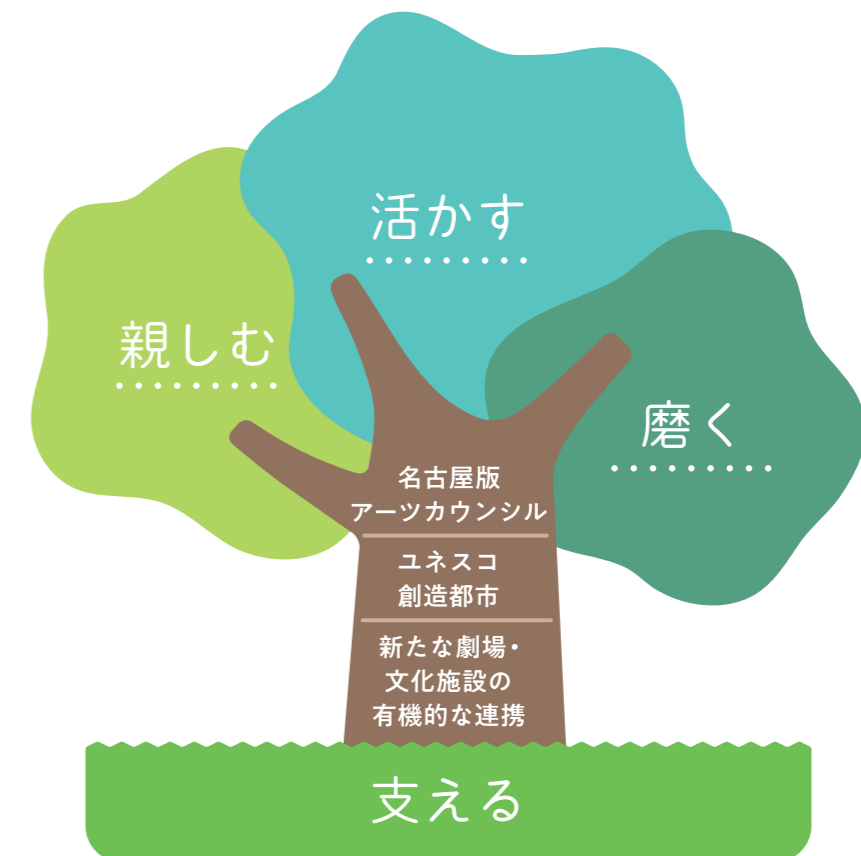
文化芸術が活きるまち・芸どころ名古屋 ～文化芸術の灯を守り輝かせ、豊かな未来を創造する～

名古屋には、古代熱田に芽吹き、徳川家康が土壌を育て、尾張藩主宗春の世に花開かせた芸どころの風土があり、現代でも市民の活発な文化活動などに受け継がれています。

これまで名古屋市は文化芸術の振興に取り組み、この「芸どころ名古屋」に相応しい文化の薫る土壌づくりに努めてきました。

今も生きる「芸どころ名古屋」の気風、息づく芸事・習い事を始めとする地元で根付く大切な文化・歴史資源について、広く市民が親しみを深め、都市を形づくる基盤として価値を高め、磨いていきます。そして、文化芸術の創造を支えるしっかりとした仕組みを構築することによって、多様な都市課題の解決にも活かしていくことが必要です。

今後10年間の変化を見据え、名古屋の文化芸術の灯を守り輝かせ、その活用により、さらなる豊かな未来を創造していくための施策の推進を図っていきます。



● 計画期間

令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間



● 施策の展開

視点1

親しむ

課題

文化芸術に親しむ
機会づくり

文化芸術を享受する機会の拡大

- 文化施設での公演・展示を行う機会づくり
- パンフレットや案内等の多言語化
- アウトリーチ活動、まちかど展開など身近な場での体験の機会づくり
- 地域の歴史文化や生活文化を新たに発見・開発する取り組みの推進

子ども・青少年の創造性・人間性の育成

- 子どもが文化芸術に触れる機会の創出
- 子ども・青少年の活動・発表・交流の場の提供・支援

国内外に向けた情報発信力の強化

- 文化情報の一元的集約及び編集
- 文化情報の国内外への発信
- 市民が情報を共有できるネットワークづくりの支援
- 文化情報のアーカイブ化

視点2

磨く

課題

文化芸術を育て、磨き、
伝えていく環境づくり

創造活動の支援

- 新進芸術家などの支援
- コンペティションなどの開催
- 文化芸術活動への表彰・顕彰

市民文化活動の支援

- 市民文化活動への助成・助言
- まちなか空間の活用
- 地域における文化活動の練習・創作・発表・交流機会の充実

文化・歴史資源の保存・継承・活用

- 名古屋独自の文化・歴史資源を活用したやっとかめ文化祭等の実施
- 歴史的建造物や歴史的町並みの保存・活用
- 重要伝統的建造物群保存地区の魅力向上・発信
- 名古屋城を核とした魅力づくり
- 文化面での広域連携

視点3

活かす

課題

文化芸術の
多様な価値の活用

社会的課題の解決への活用

- 文化芸術を活かしたまちづくりに取り組む人材や中間支援組織の支援
- 文化芸術による社会包摂・地域の活性化

観光・産業との好循環

- 観光客や訪日外国人を視野に入れた文化芸術イベントの開催支援
- 文化・歴史資源を活かした文化観光の推進
- クリエイティブ産業や文化芸術活動を支える産業の振興
- メディア芸術の活用
- 金山南ビル美術館棟(旧名古屋ボストン美術館)の利活用

文化芸術を活かしたまちづくり

- まちなかでの文化芸術活動の推進
- 名古屋駅、栄駅、金山駅地区などのまちづくりにおける広場や公共的な空間の創出・活用
- 芸術家などが集まる場づくり

視点4

支える

課題

文化芸術を支える
基盤づくり

多様な連携、体制の充実

- 名古屋市文化振興事業団、名古屋フィルハーモニー交響楽団との連携強化
- 多様な連携を図る意見交換の実施
- 文化庁・芸術文化振興基金などの制度の活用
- ネーミングライツ、助成財団など民間活力の活用
- 文化振興事業積立基金制度の活用
- 非常時におけるアーティストの相談・支援

文化施設の整備、管理運営

- 文化施設の適切な維持保全・改修・改築
- 劇場法などを踏まえた文化施設の管理・運営
- 文化施設における指定管理者制度の適切な運用
- 非常時の対応等を想定した施設の検討